キャリア教育　学習プログラム

○目標：幼児児童生徒一人一人の個々の発達段階における課題の達成を通して、将来、社会人として自立していくために必要な意欲・態度・能力（生きる力）を身に付け、それぞれの人生を「よりよく生きる」ことをねらいとして行う。

キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育です。（文部科学省）

◇子ども一人一人の※キャリア発達を支援します。
◇人とのかかわりや様々な経験や体験などを通し、将来自立した社会人として社会や集団へ適応できる力を育成します。
◇学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、意欲的に学び、行動する態度を育てます。
※キャリア発達とは社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のことです。

高知のキャリア教育３本柱

学力向上
・思考力、判断力、表現力の育成
・自ら考え、自ら学ぶ力の育成
など

基本的生活習慣の確立
・規範意識の育成
・規則正しい生活リズムの育成
など

社会性の育成
・コミュニケーション能力の育成
・自他を認め合う心の教育
・公共心の育成
・将来を見通す力の育成　など

社会的・職業的自立

２８計画
・生きがいをもって社会生活を送っている。
・人間関係を積極的に形成し、協力・協働している。
・自らの意思と責任で選択決定している。
・支援者・機関に必要に応じて相談している。

教職員の力
目指す方向性の共有

幼稚部
生きる力の基礎を培う時期
豊かな心情・意欲・態度を育てる

小学部
進路の探索・選択に係る基礎形成の時期
かかわり合う力・自ら学ぼうとする力を育てる

中学部
現実的探索と暫定的選択の時期
見通しをもつ力・やりぬく力を育てる

高等部
現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
自らの将来を切り拓く力を育てる

社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力の育成
キャリアパスポートの活用

保護者・関係機関・地域の力
保護者・相談支援機関・地域社会との連携

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。
キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

⇐

４領域８能力

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力

幼・小学部

高知のキャリア教育（就学前）

◇健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う
◇自立心を育て、人とかかわる力を養う
◇様々な環境に好奇心や探究心をもって主体的にかかわろうとする力を養う
◇言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う
◇感性と表現する力を養い、創造性を豊かにする

高知のキャリア教育（小学部）

◇自己及び他者への積極的関心の形成・発展
◇身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
◇夢や希望、憧れる自己のイメージの獲得
◇勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

本年度の教育重点目標

幼稚部

①生活に必要な習慣を身に付けさせる。
②あそびや体験を通して、身近な人と関わる楽しさを味わわせる。
③聴覚を活用し、言語の基礎とコミュニケーションの基礎を形成する。

小学部

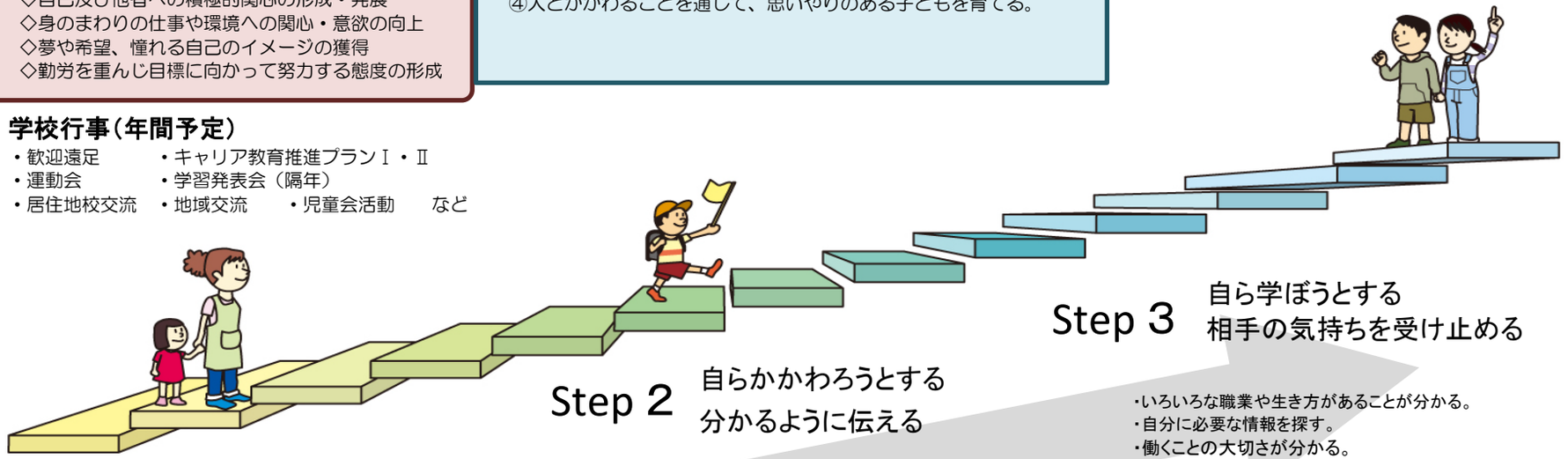
①いきいきと学び、自分の思いや考えを表現できる子どもを育てる。
②聴覚を活用し、発達段階に応じた言語力を身に付けさせる。
③学習に取り組む態度を育て、学力の伸長を図る。
④人とかかわることを通して、思いやりのある子どもを育てる。

（幼） 生きる力の基礎を培う時期
豊かな心情・意欲・態度を育てる

（小） 進路の探索・選択に係る基礎形成の時期
かかわり合う力・自ら学ぼうとする力を育てる

学校行事（年間予定）

・歓迎遠足　・キャリア教育推進プランⅠ・Ⅱ
・運動会　・学習発表会（隔年）
・居住地校交流　・地域交流　・児童会活動　など



Step 1　基本的生活習慣を身に付ける　自分の意思を伝えようとする

・手伝いなどを通して、人の役に立つ喜びを味わう。
・身近な人や社会、自然に興味をもつ。
・自分で頑張る気持をもつ。
・友達と一緒に話し、活動する楽しさを味わう。
・自分のしたいことを選び、決めようとする。

Step 2　自らかかわろうとする　分かるように伝える

・挨拶や返事ができる。
・感謝や謝罪の気持ちを伝える。
・自分でよいと思うことを考え、進んで取り組む。
・将来の夢や希望をもち、憧れとする職業をもつ。
・協力し、助け合う。
・手伝いや割り当てられた役割を果たす。
・時間や約束を守ろうとする
・授業規律を身に付ける。

Step 3　自ら学ぼうとする　相手の気持ちを受け止める

・いろいろな職業や生き方があることが分かる。
・自分に必要な情報を探す。
・働くことの大切さが分かる。
・係活動等に積極的に取り組む。
・責任を感じ、最後までやり通そうとする。
・見通しをもって行動する
・各教科の学習が、日常生活や将来の生き方につながることに気づき、学ぶ意欲をもつ。
・正しく伝わったか確認する
・自分の意見や気持ちを皆の前で分かりやすく表現する。
・周りの人の気持ちや考え方を理解し行動する。

キャリア教育の事例

幼稚部…今年がんばりたいこと　季節の自然　お散歩　健康教育（手洗い、うがい、歯を大切に、排泄などの意思表示、衣服着脱、靴や鞄の片付け、基本的マナー、健康で安全な生活習慣）　親子体験活動（親子の会話、お手伝い、親子で読書、お母さんお父さんありがとう）　交流活動参加　五感を使った遊び（体を動かして遊ぼう、季節の遊びを楽しもう）　動物飼育　作物栽培　当番の仕事（教室の掃除など）　お楽しみ会　夏休みの過ごし方　いろいろな仕事　大きくなったら何になる　日常生活や遊びに必要な言葉の使い方　何かしてほしい時にはどうしたらいいかな

学力向上…適した発声・発語の意識付け　言葉の練習　様々な情報への関心（仕事、働く人、仕事への関心、地域の人々の暮らしや生き方、地域社会資源の活用、学校探検、町探検、工場・お店・公共施設の見学、インタビュー、調べ学習、身近な福祉を考える、本校高等部進路先状況調べ）　夢や希望（将来への関心、1/2成人式、憧れる自己のイメージ、マイグッドライフ、中学部見学、様々な職業の役割への関心）　目標設定（意識、意欲、勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成）　学習の振り返り　読書

基本的生活習慣の確立…挨拶　清潔　身だしなみ（場に応じた服装）　習慣形成（基本的生活リズム、家庭、学校生活に必要な習慣づくり、家庭生活と家族の大切さ）

社会性の育成…人との関わり（自分の長所、友達の長所、協同作業、人の立場に立って考える、係の仕事、地域清掃）　集団参加（異年齢集団活動、他校との交流学習）　意思表現（大きくなったぼく・わたし、発表会、児童会、集会）　社会のきまり（約束や決まり、自分がやるべきこと、音のマナー、道徳）　金銭の大切さ、産業と国民生活との関連、役割の理解と分担（係、日直、当番活動、清掃、朝＋帰りの会、飼育・栽培活動、お手伝い）　選択（遊び、活動の選択）

中学部

高知のキャリア教育（中学部）

◇肯定的自己理解と自己有用感の獲得
◇興味・関心などに基づく勤労観・職業観の形成
◇進路計画の立案と暫定的選択
◇生き方や進路に関する現実的探索

本年度の教育重点目標

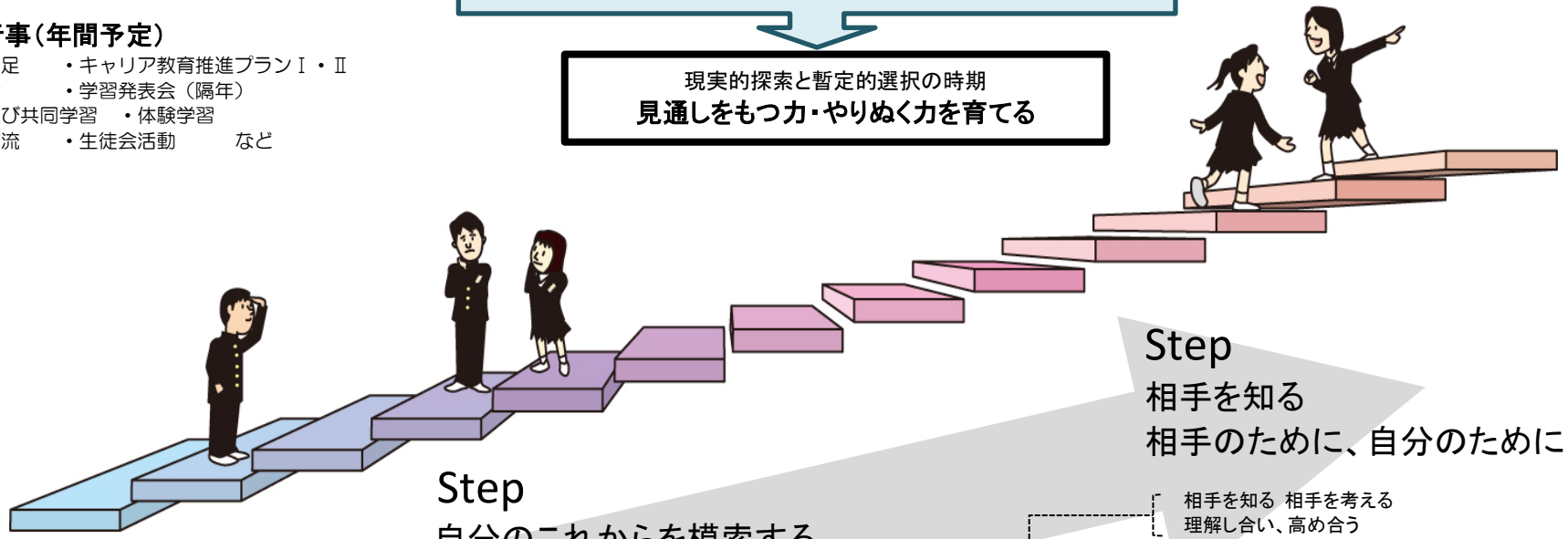
中学部

①様々なコミュニケーション手段を活用して語彙力を高めさせる。
②粘り強く挑戦する力を育てる。
③集団活動を通して責任感を養うと共に、思いやりのある豊かな心を育てる。
④自学自習の習慣を身に付ける

学校行事（年間予定）

・歓迎遠足　　・キャリア教育推進プランⅠ・Ⅱ
・運動会　　・学習発表会（隔年）
・交流及び共同学習　・体験学習
・地域交流　　・生徒会活動　　など

現実的探索と暫定的選択の時期
見通しをもつ力・やりぬく力を育てる



Step
自分を知る（自己理解）

- 自分を見つめる
- 自分の課題を知る
- 相手から見た自分

Step
自分のこれからを模索する
（理解と思考）

- 自分にできることは？（自分の役割）自分のやりたいことは？
- 自分のすべきことを考える（責任・義務）
- 自分の課題に向き合う
- 社会の中の自分（最終的な将来の夢）をイメージする
- 自学の習慣（自ら学ぶ力の基礎）
- 自分が関わっている身近な社会を学ぶ準備

Step
相手を知る
相手のために、自分のために

- 相手を知る 相手を考える
- 理解し合い、高め合う
- 共感し合い、尊重し合う
- 自分を高める・深める
- 自分の課題を克服する
- 自分を振り返り、評価する
- 言われなくても気づき、行動できる主体的な態度の育成
- まわりを見る　視野を広げる
- 学んだこと、考えたことを根拠にし、行動に反映できる
- 自分のこれからを選択する（暫定的な選択）
- 身近な社会を学ぶ（就業体験等）

キャリア教育の事例

学力向上…なぜ私たちは学ぶ（学ぶ機会や意義の多様性、生涯学習、挑戦したい事や目標）、〇年後の自分（夢や希望）　生き方いろいろ（個性や適性）、学習の進め方（学校や家庭での学習状況、学習計画、自学指導）、授業規律、話合い活動

基本的生活習慣の確立…あいさつ、清潔、身だしなみ、他人との距離、人権教育、健康教育、健康で安全な生活（身の回りにある様々な危険、事故、災害、インターネット、薬物、喫煙など、危険認知、犯罪検挙状況）、私たちの毎日（食習慣等基本的生活習慣）、不安や悩み、ストレスの解決に向けて（原因、要因、改善策、解消法）、生活での目標づくりと振り返り、将来を見通した進路選択をしよう（将来希望する生き方や職業と卒業後の進路希望先との関連）、進路の決定をしよう（入学選考試験に向けた準備、自信、心構え）

社会性の育成…なぜ私たちは働く（働く目的・意義、職業への興味・関心、働くことの多様性や個々の価値観、自立した人生とは）、自分を知る・友達を知る（自分らしさ、障害の理解、個性を認め合う、自己PR）、地域に生きる一員として（きまりやモラル、公共施設・交通機関利用のルールとマナー、多様な役割、生活の支え、交流、福祉制度）、職業について（様々な職業の存在、インタビュー、情報探索、雇用形態、イメージ、就業体験学習、日常生活と経済との関係）、自分の将来とお金について（収入・支出、生活に関するお金）、卒業後の学びの道（自分なりの学ぶ目的、上級学校の種類や特色、進路計画）、豊かな人間関係（重要性や方法、態度、感謝の手紙）、発表会、共同制作、行事の企画・立案

高等部

高知のキャリア教育（高等部）

◇自己理解の深化と自己受容
◇選択基準としての勤労観・職業観の確立
◇将来設計の立案と社会的移行の準備
◇進路の現実吟味と試行的参加

本年度の教育重点目標

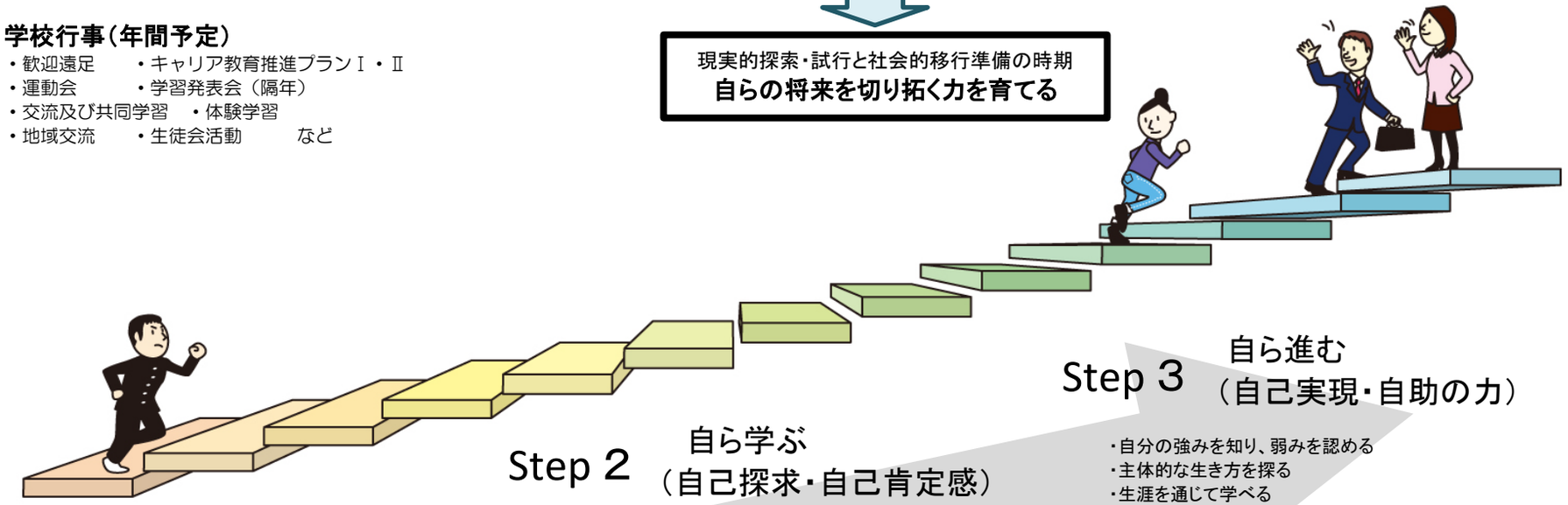
高等部

①学習意欲の向上と学習習慣の確立を図り、主体的に学習に取り組む態度を養う。
②社会人として必要な基礎的知識と技能を習得し、課題解決に取り組む力を養う。
③周囲の状況を把握して、他者の立場からの視点で物事を考える態度を育てる。
④豊かなコミュニケーションを基盤として、主体的に社会参加することができる力を養う。

学校行事（年間予定）

・歓迎遠足　・キャリア教育推進プランⅠ・Ⅱ
・運動会　・学習発表会（隔年）
・交流及び共同学習　・体験学習
・地域交流　・生徒会活動　など

現実的探索・試行と社会的移行準備の時期
自らの将来を切り拓く力を育てる



Step 1　自他を考える（自己理解・自己管理）

・自己と向き合い、課題を探る
・社会的立ち位置、役割を自覚し、能力・適性を考える
・他者の価値観や個性、心情を理解し、自己と比較する
・「すべきこと」「やりたいこと」の優先順位を考え、両立を図る
・目標、見通しのある計画を考え、行動する
・様々な体験活動を通じて価値観の広がりを獲得する
・新たな環境に適応し、望ましい人間関係を構築する

Step 2　自ら学ぶ（自己探求・自己肯定感）

・将来像をもち、自分の能力・適性を吟味する
・自分に挑戦し、高め、深め、振り返り、評価する
・理由や根拠をふまえて行動できる
・課題克服のための手段や行動を探る
・学んだことを様々な場面で活用する
・多様な場面でのコミュニケーション手段の確立
・自学により学習内容の確実な定着方法を探る
・「教わる」から「学ぶ」へ （主体的態度の伸長）
・与えられることを知り、周りに与えていけることを考える
・社会の常識・ルール・マナーを踏まえ、判断して行動できる
・勤労観、職業観の形成を図り、広げる

Step 3　自ら進む（自己実現・自助の力）

・自分の強みを知り、弱みを認める
・主体的な生き方を探る
・生涯を通じて学べる
・将来設計など長期にわたる展望に対し、「すべきこと」理解し、見通しをもって取り組むことができる
・葛藤・経験等を通し、課題解決するスキルの獲得
・多面的・多角的に情報を集め、活用できる
・支援者・支援機関を知り得て、一定の安心感を得る
・やりとりの力を身につけ、相互の関わりを深める
・広い視野で物事をとらえ、自ら働きかける
・理解し合い高めあう

キャリア教育の事例
　中学部キャリア教育の事例も含め・・・

学力向上…将来の仕事に役立つ知識・技術の学習（学ぶ・働く理由、必要な支援を適切に求めたり相談できる表現力、チームワーク、プレゼンテーション） 自分史（行動パターン、価値観、個性、能力、夢や希望） 自己の進路を考える自己啓発（様々な職業の存在、インタビュー、情報探索、雇用形態、就業体験学習、進路学習会、資格検定試験への挑戦、模擬試験、学力補習） 自己の進路を開拓する自己実現（会社・大学等訪問・お礼状作成、進学・就職へ向けたスケジュール、求人票チェック、企業・大学等チェック、会社・大学等訪問、履歴書、就職試験・面接に向けて、社会人としての意識と態度、学ぶことの重要性）

基本的生活習慣の確立…人権教育　健康教育（調理学習、危険認知、性教育、医療、事故、災害、余暇・地域生活、ストレスの解消） TPOに応じた言動　社会人としてのマナー　進路先・職業生活に必要な習慣形成

社会性の育成…法や制度の理解（障害について、福祉制度、就労支援施設、障害者福祉のしおり、行政サービス、障害者の雇用の促進等に関する法律[障害者雇用促進法]、労働基準法、就労や生活に関する関連機関など） 消費生活の理解（労働と報酬の関係、計画的な消費、金銭管理） 自己理解（障害の理解、自分の適性と進路選択、進路希望調査、職業適性検査、職業ガイダンス） 自己調整（課題解決の為の選択肢の活用、自己PR、ライフプランの作成、豊かな人間関係を築くために）